

インテリア科

卒業生進路講話

本校、インテリア科の卒業生による進路講話を実施しました。

進路の考え方や高校生活の思い出を聞きました。

講話の最後には後輩へのメッセージをいただきました。

- | | | | |
|---|------|----|-------|
| 1 | 就職 | 上田 | 竜平さん |
| 2 | 短期大学 | 奥原 | みづきさん |
| 3 | 専門学校 | 田島 | 颯也さん |

2022 年卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

進路選択は・・・

三年間、部活漬けの日々を送っていたので、進路を考え始めたのは遅かったです。いざ、進路について自分自身と向き合ったとき、どんな道に進めば良いのか分かりませんでした。私はものづくりが好きだったので、ものづくりができる会社に就職しようと考えました。その後、先生に何社か紹介いただき企業見学に行きました。その中で、現在の職場を選んだ一番の決め手は、二つあります。一つ目が、「ものづくり」ができる会社であること。二つ目が、「地元の企業」であることでした。私は地元の企業に就職して、地域貢献がしたいと思っていたので現在の会社はとても自分に合っていて、毎日充実しています。

会社では・・・

就職してからは、車のエンジン内部へ燃料を供給するためのインジェクターのバネを作っています。入社当時は何も分からず毎日不安でしたが、現在はスキルアップしていく自分が分かり、それがやり甲斐につながっています。

後輩へのメッセージ

働くことは想像している以上に大変なことです。ですが、日々の繰り返しが自分を成長させてくれていると実感しています。また就職して2年経ち、仕事に誇りとやり甲斐を感じています。皆さんもまずは、自分の好きなこと、やりたいことを見つけてみて下さい。そこからスタートだと思います。

最後に、私は社会人になり改めて「あいさつ」や「コミュニケーション能力」の大切さに気付きました。なので、高校生のうちに挨拶がしっかりとできるようになっておくこと、誰とでも会話ができるようにしておくことは、社会に出るための事前準備だと思って意識して生活してみてください。



上田 竜平

～プロフィール～

2019 年度卒業
インテリア科 プロダクトコース
ハンドボール部

・南木曾発条株式会社 第1 製造部

高校時代は・・・

高校三年間ハンドボールに熱中し、技術面・精神面ともに自分に磨きをかけることができました。

プロダクトコースの授業では、自分の考えを一つの作品にするという一連の工程を経験できて、ものづくりの楽しさに触れ、達成感や充実感を味わうことができました。就職して現在も、ものづくりをしています。プロダクトコースでもものづくりの基礎を学べたことはとても今に生きていることなのでよい経験であったと感じています。



2022年卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

進路選択は・・・

○高校 → 短大

進学することは決めていましたが、本格的に進路を考え始めたのは3年生の夏頃でした。私は4つのステップに分けて進路を決めました。ステップ1は進学先の選定。ステップ2は資料から学校のリサーチ。ステップ3はオープンキャンパスへの参加。ステップ4は先生や先輩の話を聴いてさらに詳しい情報の収集です。なかなか決められず不安や焦りが生じたので、もっと早いうちから自分自身の進路と向き合っておけばよかったと感じました。

○短大 → 就職

就きたい職業、やりたいことが特にありませんでした。なので、色んな職種を知るために多数の企業の説明会に参加しました。当時、先生からはこれだけは譲れないという「就職活動の軸」をつくるとよいとアドバイスを受けました。そしたら段々職種が絞れてきて、自分に合っていることやってみたいことが見えてきました。進路活動に迷いがある人は「自分の軸」を考えてみるとよいと思います。

会社では・・・

私は窓口業務を担当しています。お客様の入出金や振込、両替、口座開設などの受付です。お金を扱うお仕事なので常に慎重かつ丁寧な業務の遂行を心がけています。覚えることが多く大変ですが、お客様の「ありがとう」という感謝の言葉がとても嬉しくやり甲斐になっています。

後輩へのメッセージ

自分の進路を決定することは難しいことだと思いますが、迷ったら行動してみてください。行動してたくさん情報を集めることで、自分のやりたいこと、興味があることが見つかると思います。

最後に、高校時代で何かひとつでも頑張ったと言えることを作ってください。応援しています。

Okuhara Mizuki



奥原 みずき

～プロフィール～

2019年度卒業

インテリア科 デザインコース

食物部、被服部

- ・松本大学松商短期大学部 商業科 卒業
- ・株式会社 長野銀行 木曾支店

高校時代は・・・

私は、プロダクトコースの卒業制作でドレスサーを作製しました。先生方の手をお借りしながらでしたが、一年間かけて自分の思いをカタチにできたことがとても嬉しかったです。学校行事では、文化祭のクラスダンス発表で自分のクラスが1位をとれたことが印象的です。発表に向けて練習する過程でクラスの団結力が日々増していく感じは忘れられませんね。いろんなことを経験できた充実した3年間でした。



2022 年卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

Tajima Soya

進路選択は・・・

私はインテリア科、プロダクトコースでしたが、イラストやグラフィックデザインにも興味がありました。就職というよりは、専門知識を身に付けたいと思い進学を考えていました。進学先は「長野県 デザイン 専門学校」と検索をして、自分に合った授業カリキュラムや場所等を含めて検討をしました。いくつかの学校のオープンキャンパスに行き、学校の雰囲気や学生の作品を観賞して自分やりたいことができる学校を選びました。

私はとにかく早く進路決定をしたかったので、AO入試を受験しました。AO入試以外にも受験方法はあったので自分に合った受験をすればよいと思います。

学校では・・・

広告やイラスト、Web など幅広いデザインを学んでいます。学生の指導は現役のデザイナーさんがしてくれるので、高度な技術であったり繊細な描写を間近で学ぶことができます。また、多数の資格が取得できる場所も未来ビジネスカレッジの魅力で、私も日々資格取得に励んでいます。

後輩へのメッセージ

まずは、自分の興味があることについて調べたり、やってみたいことについてリサーチしてみるとよいと思います。方向性が定まったら、検索したり先生に聞いたりしていくつか学校をピックアップしたら、オープンキャンパスに参加してみてください。実際に現地を訪れることで多くの情報を得ることができます。

最後に、自分が進みたい学校の受験制度について調べておくとよいと思います。進路選択は不安や焦りはつきものだと思います。自分のやりたいことを曲げずに自分と向き合ってみて欲しいです。



田島 颯也

～プロフィール～

2020 年度卒業

インテリア科 プロダクトコース

バスケットボール部

- ・ 専門学校 未来ビジネスカレッジ
クリエイティブデザイン学科 2 年生

高校時代は・・・

各教科の課題を提出期限ギリギリになってみんなで必死でやった思い出があります。プロダクトコースの卒業制作では、デザイン、設計、製作をすべて一人でやりきれたことはとても嬉しかったですし、達成感がありました。あとは、文化祭ですね。私は文化祭会場係の係長をやらせていただいて、会場のデザインやレイアウトをいちから考えたのですが、当日生徒の皆さんや先生方に褒めてもらったことは印象深いです。喜怒哀楽さまざまありましたが、3年間とても楽しかったです。

